

湖東・湖北

毎月第3日曜日発行

2022 11 月号

Vol.156

毎日ナビ

毎日新聞湖北ブロック会 協賛

毎日新聞湖北ブロック会事務局（毎日新聞長浜販売所）

滋賀県長浜市小堀町 347-5 TEL.0749-62-0954

制作 / オフィスいしやま（毎日新聞大津販売）

湖北



沿道、で山振袖に姿向のか人うも常見守る
中、山蔵蔵に向かおう常磐山（ときわぎん）を各山組の若衆が慎重に同博物館収蔵庫から引き出し、力を合わせて自町山蔵まで運

長浜曳山まつりの曳山を4基収蔵している長浜市元浜町の同市曳山博物館で10月9日、曳山の入れ替えがあった。新

型コロナウイルス感染対策で、昨年同様に曳山巡行は見送られた。

2023年の出番山の翁山（おきなさん）、孔雀山（くじやくざん）、萬歳樓（ばんざいろう）、常磐山（ときわぎん）を各山組の若衆が慎重に同博物館収蔵庫から引き出し、力を合わせて自町山蔵まで運

【長浜通信部・長谷川隆広】
続いて24年の出番山の春日山（かすがざん）、青海山（せいかいざん）、諫鼓山（かんこざん）、月宮殿（げつきゅうでん）が順に各山蔵から運ばれ、博物館に収蔵された。同じ日に市中心部で開催された「長浜きもの大園遊会」に参加している着物姿の観光客も曳山と一緒に写真を撮影するなど思い思いに楽しんでいた。

長浜

曳山4基、そろりと交代博物館で収蔵・展示

パスでお得に観光を
慶雲館など14施設参加

長浜



一本見本のパスポート（おでかけ版）

観光施設を回れば回るほどお得になる「長浜おでかけパスポート」を長浜観光協会が販売している。23年9月30日まで。

購入すれば、参加する同市内の主要な14の観光施設に自由に入場できる仕組み（1施設1回のみ）。有効期間は利用開始日とその翌日の2日間。慶雲館の長浜盆梅展など通常料金よりも高い人気企画展にも追加料金なしで入れる。

対象施設は、ほかにヤマミミュージアム、曳山博物館、海洋堂フィギュアミュージアム黒壁などがある。

また、パスポートを提示すれば市内43カ所の店舗・施設で割引などの特典がある。QRコードによる非接触型入場システム。カード版は長浜駅観光案内所や入館対象施設、道の駅などで販売。WEBでデジタル版の購入もできる。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

感謝込め大型テレビ寄贈
稲枝クが文化センターに

彦根市稲枝地区の社会奉仕団体「稲枝クラブ」（大西和弥会長、35人）が9月29日、地元の市立みずほ文化センターに液晶テレビ（55型）と設置台を寄贈した。

市議や商工業、農業関係者らで組織する同クラブは1978年に発足。「郷土に感謝をしよう」「お互いの知性をより高めよう」「善意を郷土にささげよう」など五つの信条を掲げている。

昨年度は彦根城の世界遺産

登録と持続可能なまちづくりを目指す研修会▽和田裕行市長の施政方針講演▽広場の除草作業▽ピアノのプラントを配布する花いっぱい運動▽福祉施設でのガラス拭き▽園児を招いた人形劇公演——に取り組んだ。また、地区内の4小中学校には行事用テント、ホワイトボード、デジタル身長体重計、レーザー光源プロジェクター、マイクスタンドなどを寄贈している。

【彦根通信部・伊藤信司】



みずほ文化センターに大型テレビの目録を手渡す大西和弥会長（右）

初代藩主・直政の書状
城博物館が寄贈受け展示

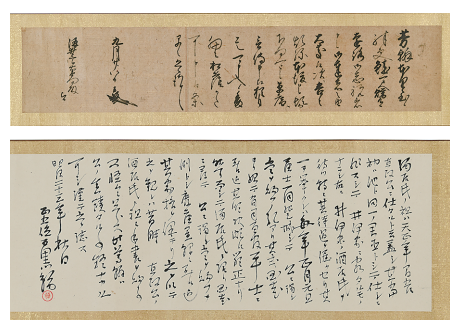
彦根

彦根藩初代の井伊直政（1561〜1602年）が戦国時代に送った書状が彦根城博物館（彦根市金亀町）で展示されている。井伊氏と婚姻関係にあった酒井三郎右衛門尉にあてたもので、このほど酒井氏の子孫から寄贈を受けたという。12月6日まで。

書状は巻物で縦16・6センチ、横82・3センチ。直政は酒井から手紙やサケをもらったことに對しお礼を述べ、煩（わづら）いが治ったので下向する——といった内容を書いている。

年代不詳だが、日付は9月28日となっている。

巻物には1890（明治23）年に旧彦根藩士の石黒務が書



井伊直政が戦国時代に送った書状と供
石黒務の解説文＝彦根城博物館提供

いた解説文も装丁されていた。江戸期以降、酒井氏は井伊家の家臣となったが、客分として厚い待遇を受けていたことが書かれ、書状は直政の直筆に間違いのないとしている。同博物館入場は一般500円、小中学生250円。

【彦根通信部・伊藤信司】